

グローバルヒストリーとしての東アジア史の再発見

2023年 1月 27日(金)

10:00~10:20 【開會式】

司會/通譯：鄭淳一(高麗大 歴史教育科 副教授/國際日本文化研究センター 外国人研究員)

通 譯：金建佑(京都大學 博士課程)

開會辭：井上章一(國際日本文化研究センター 所長)

祝 辭：鄭炳浩(高麗大 文科大学 學長/日語日文學科 教授)

10:20~12:50 【第1部】

司會/通譯：鄭淳一(高麗大 歴史教育科 副教授/國際日本文化研究センター 外国人研究員)

- 教員發表(10:20~11:00)：朴大在(高麗大 韓國史學科 教授)
 - 한국사에서 ‘초기’ 와 시대구분(韓國史における ‘初期’ と時代區分)
 - 通譯：金建佑(京都大學 博士課程)
- 第1發表(11:00~11:40)：高賢井(高麗大 韓國史學科 博士課程)
 - 단군과 샤머니즘의 민족주의적 연결에 대한 고찰-이능화를 중심으로-
 - (檀君とシャーマニズムの民族主義的連結に関する考察-李能和を中心に-)
 - 通譯：朴海仙(立命館大學 博士)
- 第2發表(11:40~12:20)：鄭奇雄(高麗大 史學科 博士課程)
 - 이동하는 사신, 환류하는 역병-8세기 전반 동아시아를 중심으로-
 - (移動する使臣、還流する疫病-8世紀前半の東アジアを中心に-)
 - 通譯：金建佑(京都大學 博士課程)
- 討論(12:20~12:50)：榎本涉(國際日本文化研究センター 准教授)

12:50~14:30 昼食時間

14:30~16:20 **【第2部】** 司會：劉バダ(高麗大 韓國史學科 助教授)

- 教員發表(14:30~15:10)：金漢雄(高麗大 史學科 助教授)
 - 日本에 의한 內陸아시아 佛教의 再發見: 슴과켄포의 事例를 中心으로
(日本による内陸アジア仏教の再發見: 슴파켄포의事例を中心に)
 - 通譯：朴海仙(立命館大學 博士)
- 教員發表(15:10~15:50)：
 - 朱莉麗(復旦大學 文史研究院 副研究員, 國際日本文化研究센터 外國人研究員)
 - 「清と朝鮮との交聘における日本刀」(清과 조선과의 교빙에서의 日本刀)
 - 通譯：朴海仙(立命館大學 博士)
- 自由 討論(15:50~16:20)

16:20~16:30 休息時間

16:30~18:20 **【第3部】** 司會：劉バダ(高麗大 韓國史學科 助教授)

- 第3發表(16:30~17:10)：黃裕程(高麗大 史學科 碩士課程)
 - 清 前期 西南 邊境에서의 統治方式 變化: 乾隆年間 金川地域 改造를 中心으로
(清の前期の西南邊境における統治方式の變化: 乾隆年間の金川地域の改造を中心に)
 - 通譯：金建佑(京都大學 博士課程)
- 第4發表(17:10~17:50)：蘇琦惠(總研大 國際日本研究專攻 博士課程)
 - 「漢譯西洋科學書と近代日本に関する一研究」(漢譯 서양과학서와 근대 일본에 관한 일연구)
 - 通譯：朴海仙(立命館大學 博士)
- 討論(17:50~18:20)：金漢雄(高麗大 史學科 助教授)

2023年 1月 28日(土)

10:00~11:50 【第4部】

司會/通譯：鄭淳一(高麗大 歴史教育科 副教授/國際日本文化研究センター 外国人研究員)

- 教員發表(10:00~10:40)：劉バダ(高麗大 韓國史學科 助教授)
 - 대한제국 성립에 대한 일본의 반응(大韓帝國の成立に對する日本の反應)
 - 朴海仙(立命館大學 博士)
 - 第5發表(10:40~11:20)：尹敏嫻(高麗大 韓國史學科 博士課程)
 - 1919년 3.1운동 직후 식민지 통치 '改革' 구상의 대립과 植民地 '自治' 논의 지형의 형성 (1919年の3・1運動直後、植民地統治「改革」構想の対立と植民地「自治」論議の地形の形成)
 - 金建佑(京都大學 博士課程)
 - 討論(11:20~11:50)：劉建輝(國際日本文化研究センター 教授)
-

11:50~13:30 昼食時間

13:30~15:20 【第5部】 司會：金漢雄(高麗大 史學科 助教授)

- 教員發表(13:30~14:10)：戰曉梅(國際日本文化研究センター 教授)
 - 伝統中国画の近代化をめぐる苦闘——金城の場合 (전통중국화의 근대화를 둘러싼 고투——金城의 경우)
 - 金建佑(京都大學 博士課程)
 - 教員發表(14:10~14:50)：松田利彦(國際日本文化研究センター 副所長)
 - 大韓帝国の外交政策と国際赤十字(대한제국의 외교정책과 국제적십자)
 - 朴海仙(立命館大學 博士))
 - 自由 討論(14:50~15:20)
-

15:20~15:30 休息時間

15:30~17:20 **【第6部】** 司會：劉建輝(國際日本文化研究センター 教授)

- 第6發表(15:30~16:10)：蘇文博(総研大国際日本研究専攻 博士課程)
 - 「朝鮮策略」にみる黄遵憲の外交思想—中華世界秩序から勢力均衡へ—
(조선책략에 보이는 황준헌의 외교사상-중화세계질서로부터 세력균형으로)
 - 金建佑(京都大學 博士課程)
- 第7發表(16:10~16:50)：劉影(総研大国際日本研究専攻 博士課程)
 - 在「滿」朝鮮人の文学形成に関する一考察—龍井を中心に
(재만 조선인 문학의 형성에 관한 일고찰-용정을 중심으로)
 - 朴海仙(立命館大學 博士)
- 討論(16:50~17:20)：鄭泰憲(高麗大 文科大学 前 學長/韓國史學科 教授)

17:30~17:50 **【閉會式】**

司會/通譯：鄭淳一(高麗大 歴史教育科 副教授/國際日本文化研究センター 外国人研究員)

通 譯：朴海仙(立命館大學 博士)

閉會辭：松田利彦(國際日本文化研究センター 副所長)

閉會辭：朴大在(高麗大 韓國史學科 教授, 大學院 歴史學科 主任教授)